

- 問1 「漢書」地理志や「魏志」倭人伝などの中国の歴史書には、倭の女王である卑弥呼や、それ以前の倭の小国の王が、中国の皇帝に使者を送ったことが記されています。このような古代の日中外交において、日本の支配者が中国の皇帝から称号を授けようとした主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 宮崎県公立入試 類似）
1. 中国の皇帝と対等な立場で軍事同盟を結び、高句麗や新羅を共同で攻撃するための約束を取り付けるため。

2. 中国の皇帝から直接的に領土を譲り受け、日本列島を中国の行政区画の一部として統治するため。

3. 中国の強力な武力や権威を背景に、日本国内の他の勢力に対して自らの支配の正当性を示すため。

4. 中国国内でのキリスト教の布教を許可してもらい、宗教的な指導者としての地位を確立するため。
- 問2 弥生時代の稲作の普及に伴って変化した人々の生活や道具について述べたものとして、正しいものはどれか。（2023年 佐賀県公立入試 類似）
1. 人々は獲物を求めて移動生活を続け、土器は表面に縄目の文様がある厚手で大きな作りのものが主流となった。

2. 金属器はまだ伝わっていなかったため、すべて木製の農具と黒曜石の打製石器のみで耕作が行われた。

3. 稲作を管理するために、強力な権力を持つ支配者が各地に巨大な前方後円墳を築かせた。

4. 収穫した稲を湿気やネズミから守るために高床倉庫が造られ、穂首を刈り取るための石包丁などが使われた。
- 問3 弥生時代の人々が、収穫した米を保存する建物の床を地面から高く設計した理由として、当時の工夫を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）
1. 洪水が発生した際に建物全体が水に浮くようにし、米が濡れるのを防ぐため

2. 敵に米を奪われないよう、床下に深い穴を掘って隠し場所を作るため

3. 床下を家畜の飼育スペースとして利用し、限られた土地を有効に活用するため

4. 風通しを良くして湿気を防ぐとともに、ねずみなどの害獣が侵入するのを防ぐため
- 問4 3世紀の中国の歴史書には、当時の倭（日本）の様子が詳しく記されています。邪馬台国の女王である卑弥呼が亡くなった際、直径100余歩（約150メートル）もの大きな塚が造られ、100人余りの奴隷と一緒に埋められたといった、当時の社会の様子や埋葬の風習を伝えている資料の名称を選びなさい。（2024年 沖縄県公立入試 類似）
1. 「漢書」地理志

2. 「隋書」倭国伝

3. 「後漢書」東夷伝

4. 「魏志」倭人伝
- 問5 弥生時代に大陸から稲作が伝来して定住生活が広まると、集落（ムラ）の間で大規模な争いが発生するようになりました。縄文時代の狩猟・採集中心の生活ではあまり見られなかったこのような対立が、弥生時代に激化した主な理由として適切なものはどれですか。（2024年 北海道公立入試 類似）
1. 気候の寒冷化によって木の実などの食料が激減し、採集場所を奪い合ったため

2. 大陸から伝来した仏教の布教をめぐり、信仰の違いから衝突が起きたため

3. 水田を耕作するための土地や、農業に欠かせない水の利権を確保しようとしたため

4. 獲物を追って移動する範囲を広げる中で、獲物の所有権をめぐって対立したため
- 問6 弥生時代から古墳時代にかけての日本列島において、当時の人々が衣服を仕立てる際に主な原料として用いていたものの組み合わせとして、正しいものを選びなさい。（2026年 栃木県公立入試 類似）
1. 絹と羊毛

2. 麻と絹

3. 綿（木綿）と麻

4. 綿（木綿）と絹
- 問7 弥生時代の日本列島では、鉄器と青銅器という2種類の金属器が使われていました。鉄器が主に生産や戦闘の道具として発展したのに対し、青銅器が主に「祭祀や儀式の道具」として用いられた理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 鉄に比べて強度が低く実用的な道具には不向きだったが、その希少性や美しさが信仰の場で重視されたため

2. 加工が非常に困難であり、当時の技術では小さな鏡や鈴の形にすることができなかったため

3. 青銅には殺菌作用があると考えられており、食料の保存や医療用の道具として限定的に使われたため

4. 大陸から伝わった時期が鉄器よりも大幅に遅く、すでに農具としての鉄器が普及していたため
- 問8 弥生時代の遺跡からは、大陸から伝わった銅剣や銅矛などの青銅器が発見されることがあります。これらの青銅器の使われ方の特徴や変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 岡山県公立入試 類似）
1. 各地の王が富を蓄えるための貨幣として使われ、和同開珎が作られるまで主要な流通手段となった。

2. 当初は武器として伝わったが、日本では次第に豊作を祈る祭祀や儀式のための宝物として使われるようになった。

3. 弥生時代には鉄器がまだ伝わっていなかったため、青銅器が唯一の金属製武器として実戦で使われ続けた。

4. 青銅器は非常に硬くて丈夫であったため、収穫した稲を加工するための農業用工具として普及した。
- 問9 古代日本の生活文化について述べた次の文のうち、衣料に関する記述として正しいものを選びなさい。（2026年 栃木県公立入試 類似）
1. 古代の日本列島では乾燥した気候を活かした羊の飼育が盛んで、羊毛が主な原料だった。

2. 古墳時代の有力者は、麻のほか絹を用いた衣服を身につけることもあった。

3. 当時の技術では植物繊維を利用することができず、衣服のすべてが動物の皮で作られていた。

4. 弥生時代には稲作とともに綿の栽培も伝わり、民衆の服の多くは綿製であった。
- 問10 鳥取県の青谷上寺地遺跡などの出土品をまとめた資料では、木製品や骨角器とともに、石器、金属器、そしてこの時代の特徴的な土器が並んで示されています。これらの道具が併用されていた弥生時代の土器に見られる、縄文土器と比較した際の外見上の特徴として、最も適切なものはどれか。（2016年 鳥取県公立入試 類似）
1. 青灰色をしており、非常に硬く焼かれた朝鮮半島由来の技術で作られている

2. 表面に縄目のような力強い文様がつけられ、全体的に厚手である

3. 表面に細目の文様がつけられ、全体的に薄手で実用的である

4. 仏教の儀式に用いるために、表面に金色の装飾や仏像が描かれている
- 問11 3世紀から17世紀までの日本の政治の展開や社会の様子を、AからDの4つの期間に分けて整理した年表があります。このうち、最も古い時期である「A」の期間として示されている「3世紀」とは、西暦で表すとどの範囲を指しますか。（2023年 山形県公立入試 類似）
1. 西暦200年から299年まで

2. 西暦201年から300年まで

3. 西暦301年から400年まで

4. 西暦101年から200年まで
- 問12 弥生時代の生活の様子を描いた資料には、人々が稲の収穫作業を行い、その背景に柱の高い建築物が建てられている様子が見られます。収穫したコメを湿気や害獣から守るために、床を高くし「ネズミ返し」と呼ばれる板を柱に取り付けるなどの工夫を施したこの建築物の名称を答えなさい。（2023年 神奈川県公立入試 類似）
1. たて穴住居

2. 高床倉庫

3. 貝塚

4. 環壕集落